

28 安福家住宅



設計：不詳
施工：不詳
竣工：明治10年（1877年）頃
構造：主屋(茅葺) 軸組工法（伝統構法）
その他 軸組工法（在来工法）
所在地：北区淡河町勝雄



勝雄地区の東端、淡河八幡神社と天満神社の背後に疎水に接して立地し、主屋は正面を川の方角に向けて建つ平入り民家です。

北西の丘陵部の縁あたりから見下ろすと、当住宅を含め、点在する民家と周辺に広がる田畑そして鎮守の森という盆地らしい景観が広がり、遠くには帝釈・丹生山系の眺望を望むことができます。

主屋の南側に平入の玄関、西側に座敷が設けられ、播磨型農家の典型的な構成を現在まで伝えています。



北西の丘陵部からの集落景観